

近畿地方整備局 足羽川ダム 工事事務所
資料配布

配布日時	平成27年 8月 5日
------	-------------

件名	第8回「九頭竜川水系足羽川ダム事業費等監理委員会」 の結果概要について
----	--

概要	●ダム事業の実施状況やコスト縮減・工期短縮等について 意見と助言を得るため、委員会を開催しました。 ●委員会の結果概要は、別紙のとおりです。
----	--

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 電話 0776-27-0642 (代表) 副所長 小林 正治 調査設計課長 人見 剛
------	--

第8回 九頭竜川水系足羽川ダム事業費等監理

委員会の結果概要について

1. 開催日時：平成27年8月5日（水） 15:00～16:30
2. 開催場所：足羽川ダム工事事務所 1階 第1会議室
福井市成和1丁目2111
3. 委員： 安陪 和雄（土木研究所 水工研究グループ グループ長）
◎荒井 克彦（福井大学名誉教授）
桑原 美香（福井県立大学経済学部 准教授）
角 哲也（京都大学 防災研究所
水資源環境研究センター教授）

◎ 委員長（*50音順・敬称略）

4. 結果概要

●委員からのご意見及び助言

- ダム本体設計については、流水型ダムである足羽川ダムの特徴を考慮するとともに、新技術・新工法を踏まえた、コスト縮減・工程短縮の検討を行うこと。
- ダム本体の景観について、流水型ダムの特徴を考慮し上流面を含めた検討を行うこと。
- 貯水地法面の検討について、流水型ダムの特徴を考慮し、対策の必要性について検討を行うこと。
- 水海川導水路の地下水低下対策が必要となる区間については、社会的影響と対策費用等を総合的に比較し検討を行うこと。
- 水海川分水施設の検討において、土砂流入防止対策やインバートコンクリート強度の検討を適切に行うこと。
- 工期縮減がコスト縮減につながるため、クリティカルとなる要素を明確にしたうえで工程管理に努めること。
- 物価や人件費上昇等が考えられるため、更なるコスト縮減検討に努めること。